

茨城労働局長が、働き方改革に取り組む ベストプラクティス企業への職場訪問を行いました

～訪問企業 TOTOウォシュレットテクノ株式会社 茨城工場～

福元俊成茨城労働局長は、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、平成 30 年 11 月 6 日（火）、長時間労働の削減を始めとする働き方改革に向け、積極的な取組を行うベストプラクティス企業への職場訪問を行いました。

訪問したTOTOウォシュレットテクノ株式会社 茨城工場（桜川市西小埜）は、先端技術に挑戦し、「Everyday Something New」（毎日の生活を新しく快適に）をモットーにお客様の満足と信頼に応えるという経営理念の下、お客様要求に応えながら働きやすい工場にしていくことを目的に、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍推進、工場人員確保・人財育成を人財方針の重点テーマとし、働き方改革に積極的に取り組んでいます。

同社では、ワーク・ライフ・バランスの推進として所定外労働の削減や年次有給休暇の取得促進について取り組み、平成 28、29 年度における従業員 1 人当たりの月平均所定外労働はそれぞれ 15.0、20.0 時間、年次有給休暇の取得率は同じく 92.9、92.3%としています。また、女性活躍推進・仕事と家庭の両立支援についても積極的に取り組んでおり、平成 23 年度以降、産休・育児休業取得及び職場復帰率を 100%としています。

訪問当日は、田尻三幸執行役員・工場長、保坂名子総務課長から取組について説明を受けるとともに、社員を交え意見交換を行いました。



田尻執行役員・工場長（中央）から工場で説明を受ける
福元局長（左）



田尻執行役員・工場長（奥左）、保坂総務課長（奥中央）、
社員の茶花さん（奥右）と、意見交換する福元局長（手前
左）、瀧川監督課長（手前右）

取組概要

企業名:TOTOウォシュレットテクノ(株)	所在地:茨城県桜川市西小墾
社員数:約 300 名	業種:温水洗浄便座(ウォシュレット®)の製造

取組の概要:

〈現在の取組〉

1 時間外労働の削減

- ・週末の定時体制の確保(ノー残業DAYの実施)
- ・業務効率化の推進

多品種生産に応じたフレキシブル組立ラインの創設、多能工の育成、生産計画に基づく進捗管理の見える化、身近な業務から無駄を省く改善提案制度の実施

- ・毎月開催の労使時間外協議会による分析・検討

2 年次有給休暇の取得促進

- ・月1回の計画的な取得
- ・多能工化を図ったリリーフ要員(年休取得者の代替要員)の確保

3 女性活躍推進

女性活用における働き方の選択とモチベーションUPを図る。

- ・スペシャリスト制度(ものづくりの高い技術・知識・技能の保有者を認定) 認定者4名
- ・エルダー制度(障害のある従業員の指導者を認定) 認定者2名
- ・ラインリーダー(各ラインの管理監督者)及びアシスタントリーダー(ラインリーダーの補佐)制度
ラインリーダー 4名(全体11名) アシスタントリーダー 2名(全体7名)
- ・女性管理職 3名(全体7名)

4 仕事と家庭の両立支援

女性社員が生涯働ける環境整備を行う。

- ・産前・産後～育児休暇の取得
子が2歳になるまで取得可能(取得率・取得後の復帰率100%)
- ・短時間勤務制度の活用
育児の場合 子が小学校6年生まで取得可能 13名
介護の場合 介護認定又は該当項目があれば取得可能 3名
- ・短時間勤務ラインの設置
・9:00/9:30～16:10 17名勤務

取組の効果

- ・社員1人当たりの月平均所定外労働は、平成28年度15.0時間、平成29年20.0時間である。
- ・年次有給休暇の取得率は、平成28年度92.9%、平成29年92.3%と90%を超えている。